



合い言葉は「自分の命は自分で守る」

もうすぐ子どもたちが楽しみにしている夏休みになります。夏は楽しみが多い分、危険もいっぱいです。どんな危険に対しても、大切なことは一人ひとりが「**自分の命は自分で守る**」という気持ちを持つことです。特に、武山地区は夏になると交通量が増え、交通事故に遭う危険も高まります。かけがえのない命を守るためには、

・日頃の心がけ

・この時期ならではの安全への注意喚起

が大切です。

小学生のうちから危機意識を高め、危険を察知する力を身につけることです。こうなると危ない、こうするとけがをするなど、頭の中で考えながら、具体的にどうすれば良いのか、安全なのかをご家庭でも話し合ってみてください。また、自転車による事故が増えるのも夏休みです。ブレーキやチェーン、空気圧など、日頃の整備点検と安全な乗り方をご家庭でもご指導ください。

子どもたちにとって安全・安心で楽しい夏休みとなるよう、ご協力をお願いします。

☆☆☆外での遊びを考えよう☆☆☆

真夏の太陽の下、外で遊ぶ機会が増えます。楽しく安全に遊ぶためにも次のことに気をつけてください。

《熱中症対策》

熱中症は、症状が出る前の対策も大切です。通気性のよい服装をする。帽子をかぶる。

定期的に日陰で休む。のどが渇く前に水分補給をする。(少量をこまめにとる) など、しっかりと予防をするようにしましょう。



《落雷事故対策》

夏は、雷雲が発生しやすい季節です。屋外で活動しているときに、雷の音が聞こえた時は、すぐに活動をやめ、明らかに危険性がなくなると判断されるまでは、(雷の音が聞こえなくなってから、少なくとも30分以上)安全な場所に避難するようにしましょう。

